

---

---

# 支え愛 プロジェクト

1-4 6班

---

---

今から 1 年 4 組の発表を始めます

# Mission

この班のミッションは

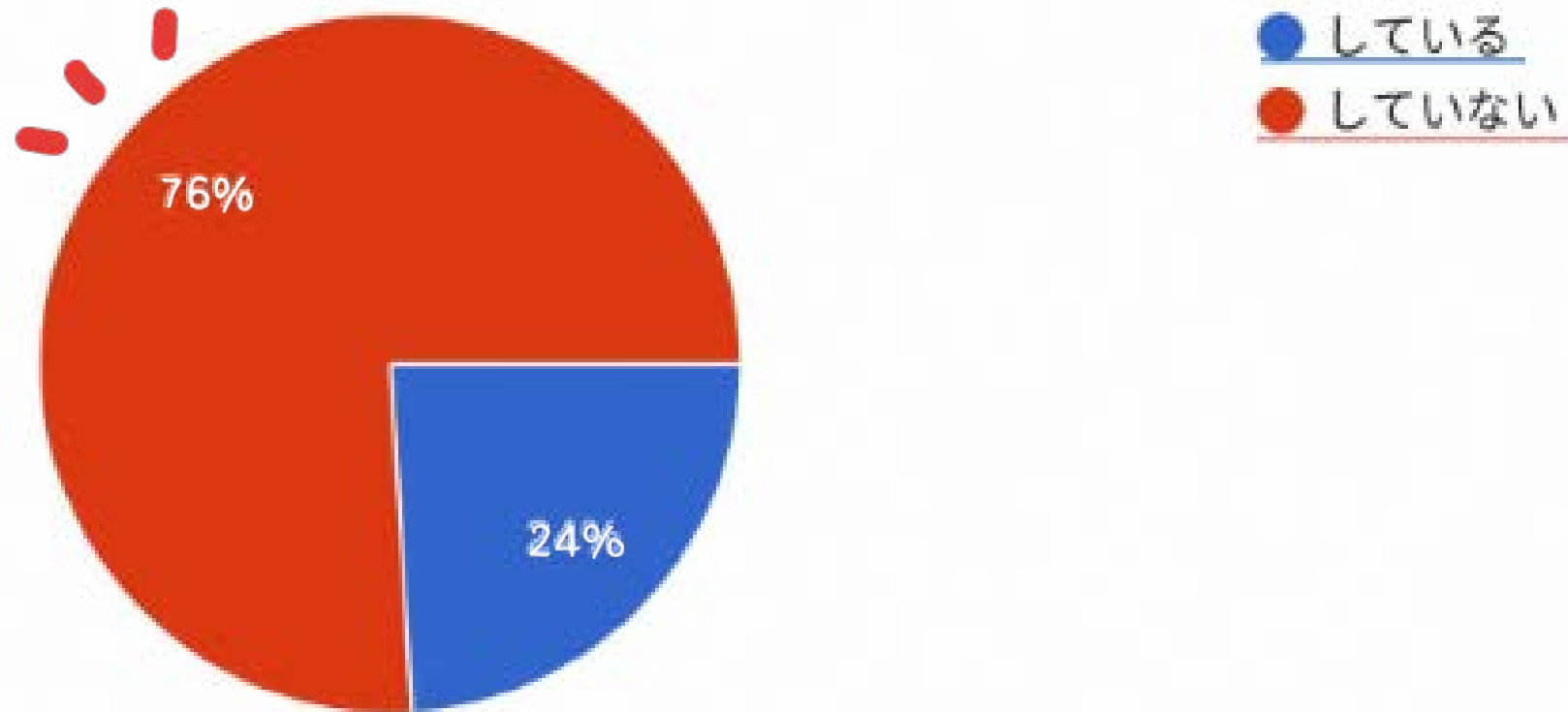
災害に備え支え合い地域  
プロジェクトを立ち上げ  
よ！！！！

—

僕達の班のミッションは、  
「災害に備え支え合い地域プロ  
ジェクトを立ち上げよ」です。

## アンケート結果

災害が起きた時、家族での対策をしているか  
25件の回答



まず、みんなの防災に対する意識を調べるために、1年4組のみんなに2つのアンケートを取りました。

1つ目のアンケートは「災害に備えて家族で対策をしているか」というアンケートを取りました。結果は、している人が24%、していない人が76%でした。

# 結果

対策している人が少ない

↓ 意識が低くなっている ↓

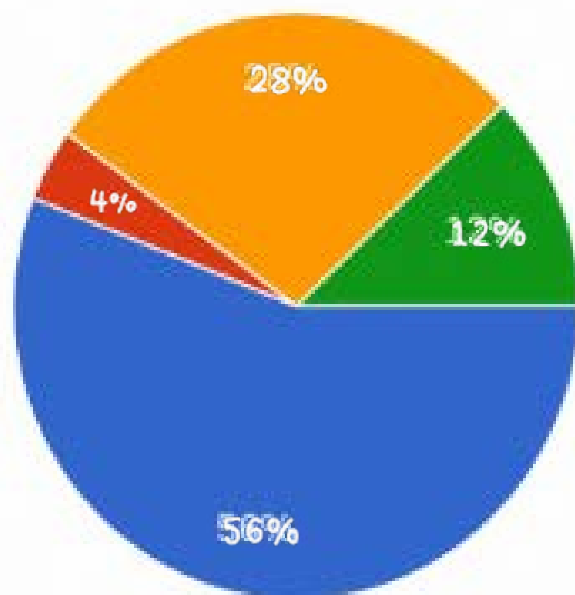
このグラフからわかることは、対策をしている人が少なく、防災に対する意識が低くなっていることがわかります。



## アンケート結果2

防災マップを見たことがあるか

25件の回答



- 見たことがある
- 見たことがあり、なにかも知っている。
- 見たことがない。
- 見たことがなく、なにかも知らない。

2つ目のアンケートは、「防災マップを見たことがあるか」というアンケートです。

結果は、見たことがある人が56%  
見たことがあり、なにかも知っている人が4%

見たことがない人が28%

見たことがなく、なにかも知らない人が12%でした。

# 結果

見たことのない人も多い

↳ 防災マップが  
あまり広まっていない

このグラフからわかることは、見たことのない人も多く、防災マップがあまり広まっていないことがわかります。

**アンケートの結果から**

---

アンケートの結果から

# 現在の問題点

災害に対する意識

→低い

防災グッズを知る人

→少ない

現在の問題点は  
防災に対する意識が低く、  
防災グッズを知る人が少ないこと  
だとわかりました。



# 災害時の被害

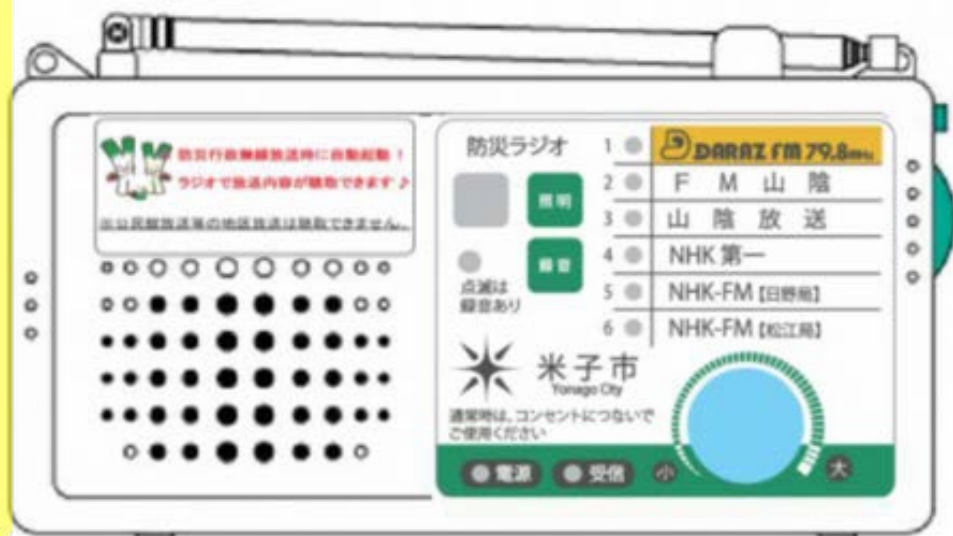
# 洪水



色の分け方などで！

次に調べたことのまとめです。  
災害時、一番被害を受けやすいところは、洪水で例えると、、、  
このハザードマップで見ると、  
（ハザードマップを拡大）日野川の周  
りや川の近くなどです。  
ハザードマップをみると、色が濃い  
ところが被害が大きいとわかります。  
ハザードマップは、色の分け方などで  
被害の大きさがわかります。

# 災害の対策



防災ラジオ・防災グッズ  
避難場所・避難経路  
集合場所

災害に備えた対策は、

- 防災ラジオ・防災グッズを用意しておく。
- 避難グッズを用意しておく。
- 避難場所を確認しておく。
- 家族と離れてしまったときの集合場所を確認しておく。

などがあります。

このように、今できることがたくさんあります。

# 災害時の行動



**警戒レベル4  
高齢者優先  
防災ラジオなどの放送  
頭を守る**

令和3年5月20日から  
警戒レベル4 避難指示で必ず避難  
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保 <sup>※1</sup>	災害発生情報 (発生を察知したときに発令)
4	避難指示 <sup>※2</sup>	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等避難 <sup>※3</sup>	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大規模水・火災注意情報 (気象庁)	大規模水・火災注意情報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 津波の到達時刻や規模、地震の規模や震源の深さなどから、避難指示は発令されることがあります。  
※2 避難指示は、これまでの避難勧告の代わりに発令される場合があります。  
※3 警戒レベル4は、高齢者等以外の人は必ず避難指示に従って行動を怠らないうえ、避難の準備をし、危険な場所から避難する必要があります。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に開始のやから高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

災害が起きたときの行動は、

- 警戒レベル4の避難指示のうちに逃げる。警戒レベル5の緊急安全確保では間に合わない可能性があります。
- 避難時には高齢者を優先する。
- 防災ラジオなどの放送をよく聞いておく。
- 頭を守りながら避難する。
- 地震の場合、揺れがおさまってから避難する。

などがあります。

災害が起きたときは落ち着いて避難することが大切です。

# ハザードマップ

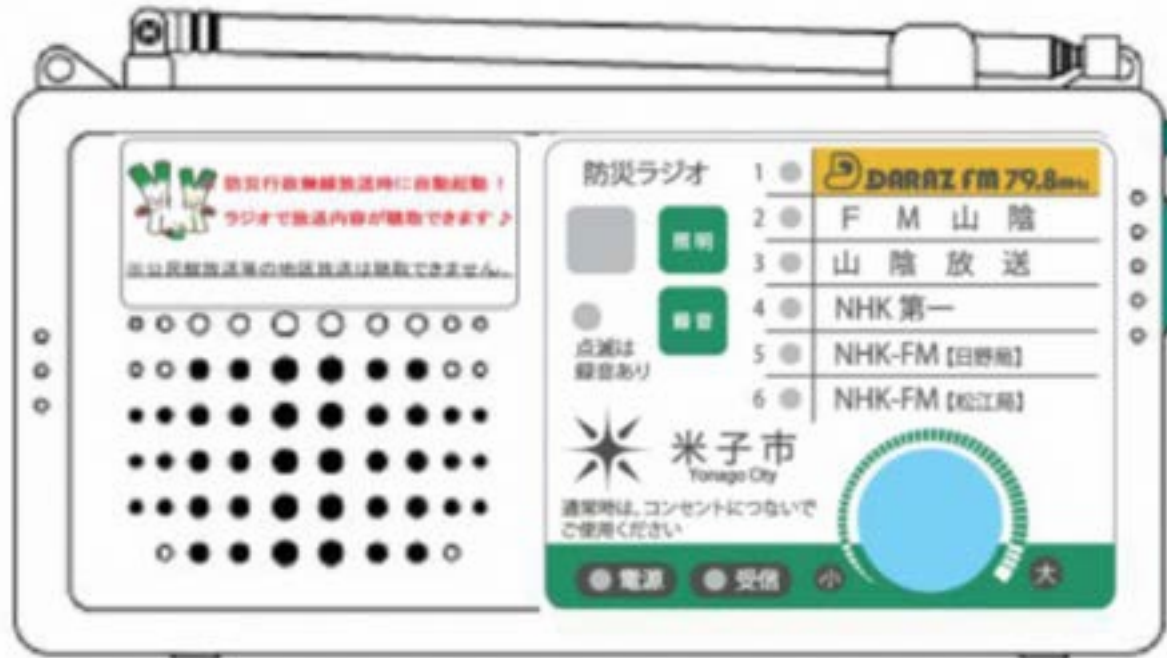


- 避難所の情報
- 想定される自然災害

そもそもハザードマップとは、災害による被害を軽減するため、災害の対策に使用するためのものです。被害が起きそうな場所や避難場所、避難経路などの防災に関する施設の位置が示された地図で、災害時に役立つ情報がたくさん乗っています。ハザードマップの色によって、被害が大きい場所を確認できます。



# 防災ラジオ



- 災害発生→ラジオが流れる
- 持ち運び可能
- ランプが点灯

防災ラジオとは、普通のラジオとして使用できますが、災害が起きたら電源を切っていても、他の番組を聞いていても、災害の情報などが流れるラジオです。ラジオだから持ち運びもでき、避難場所や避難時でもラジオを聞けます。他にも災害時ランプが点灯するため、耳の聞こえない人にも災害が起きたりしたことがわかるようになっています。

# 市役所の方から皆さんへ

- 家族と相談
- 防災マップの活用
- 災害に備える



**保存水・保存食  
… 5年間もつ！**

市役所の方からみんなへメッセージが有り、まず「防災マップを活用してほしい」こと、2つ目に「災害が起きたときのため、家族と相談をしておいてほしい（集合場所や、連絡方法など）最後に「避難グッズや防災ラジオ、防災マップなどを用意して、災害に備えてほしい」とのことです。ちなみに、保存食や保存水は、5年間も持つものがあるそうです。

# 防災すごろくを作成！

- 防災に関すること
- 家族で話し合ってほしい



そこで僕達は防災すごろくという  
のもを作成しました。防災すごろ  
くは家族と遊んでより防災意識を  
高めてもさうことが目的です。



地震だ!! 避難 しよう!!	まずは 落ち着いて 火を消して ブレーカーを切 る	持ち物は 最小限にする	避難するときは ヘルメットをか ぶると良い	1人で行動 するのは 控える	早めに避難を 開始することが できた  もう一度サイコ ロふって、1が出 たらワープす る。	避難ルート を確認して なかった  1回休み	避難するときは 長靴より 動きやすい靴 のほう が良い
----------------------	---------------------------------------	----------------	-----------------------------	----------------------	---	------------------------------------	---



家族などの  
連絡先は  
メモしておく

ポケットにアメ が入っていた。 元気になっ た! 2マス進む	余震が 起きた 1回休み	防災ラジオ	忘れ物を して、取り に戻ってし まった。 1回休み	高齢書を 優先でき た。 1マス進む	避難は 徒歩で	避難は安全 を最優先す る	防災バッグを 持ってなかつ た 振り出しに戻 る	高齢者や子供 の手はしっかり 握る	がれきで道が ふさがってい た  1回休み	地震の時は 道がふさがっ てる可能性がある
--	--------------------	-------	--	-----------------------------	------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------	-----------------------------------	-----------------------------



ご飯を食べて体力  
が回復した  
もう一回サイコロ  
を振れる

足をくじい  
てしまった  
4か5か6が  
出るまで休  
み

警戒レベ  
ル5になっ  
てしまった  
2回休み

スマホをなくした ことを知ってテン ションが下がった 偶数が出るまで休 み	人が住める ようになってきた	復興作業が 始まった 2マス進む	支援物資が 届いた 2マス進む	支援物資が届 くまで災害後 3日から7日 かかる	散歩したら 迷子になっ た 2マス戻る	避難所生活は 衛生管理を することが課題
---	-------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------------------	------------------------------	----------------------------

避難所生活でも  
体を動かすこと  
を心が  
ける

STOP!

山の下の 道を歩いてはいけ ない	かわいい花 があって寄り道をして しまった 1回休み	高齢者を 運んだ お礼に2マ ス進ませ てもらった	食料は 2日分 あると 良い	用水路や 川を見に 行かない	みんなで励 ましあえた 2マス進む	足がハマっ てしまった 1か2か3が 出るまで休 み	避難所が 見えてきた	避難所の 目の前で コケた 1回休み	避難所に ついた!	避難所生活 ではルール を守って生 活すること が大事	家族と合流 できた!	避難してきた 仲間、みんな いるか確認!
------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------	----------------------	-------------------------	--	---------------	-----------------------------	--------------	---	---------------	----------------------------

この防災すごろくにあるように、  
「まずは落ち着いて火を消しブ  
レーカーを切る」や「避難ルート  
を確認していなかった」など避難  
の際にしたほうが良いことや避難  
所生活のことなどが書いてありま  
す。





地震だ!! 避難 しよう!!	まずは 持ち物 を 準備して 大を消して ブレーカーを切 る	持ち物は 最小限にする	避難するときは ヘルメットをか ぶると良い	1人で行動 するのは 控える	事前に避難を 確認すること ができた もう一度サイコ ロによって、1が 出たらワープす る。	避難ルートを 確認して なかった 1回休み	避難するときは 長靴より 動きやすい靴 のほうが良い
----------------------	--	----------------	-----------------------------	----------------------	--	--------------------------------	-------------------------------------

ワ-ワ!

余震が 起きた 1回休み	防災ラジオ 	忘れ物を して、取り 戻ってし まった。 1回休み	高齢者を 優先でき た。 1マス進む	避難は 徒歩で	避難は安全 を最優先す る	防災バッグを 持ってなかつ た 振り出しに置 く	高齢者や子供 の手はしっか り握る	がれきで道が ふさがってい た 1回休み	地震の時は 道がふさがつ て る可能性がある
--------------------	-----------	---------------------------------------	-----------------------------	------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------	-------------------------------	---------------------------------

ゴール!!!

復興が完了した!

**GOAL!**

足をくじい てしまった 4か5か6が 出るまで休 み	警戒レベ ル5になつ てしまった 2回休み	スマホをなくした ことを知ってデ ン ジョンが下がつ た 復旧が出るまで休 み	人が住める ようになってきた	復興作業が 始まった 2マス進む	支援物資が 届いた 2マス進む	支援物資が届 くまで災害後 3日から7日 かかる	散歩したら 迷子になつ た 2マス戻る	避難所生活は 衛生管理を することが課題
--	--------------------------------	---	-------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------------------	------------------------------	----------------------------

STOP!

山の下の 道を歩いて はいけ ない	かわいい花 があつて著 り運をして しまった 1回休み	高齢者を 運んだ お札に2マ ス進ませ てもらった	食料は 2日分 あると 良い	用水路や 川を見に 行かない	みんなで動 かしあえた 2マス進む	足がハマつ てしまった 1か2か3が 出るまで休 み	避難所が 見えてきた	避難所の 目の前で コケた 1回休み	避難所に ついた!	避難所生活 ではルール を守って生 活すること が大事	家族と合流 できた!	避難してきた 仲間、みんな いるか確認!
----------------------------	---	---------------------------------------	-------------------------	----------------------	-------------------------	--	---------------	-----------------------------	--------------	---	---------------	----------------------------

実際はこのようなものです。

(印刷したすぐろくを見せる。)

**すごろくを多くの人に伝えるために**

- **学校のホームページに記載**
  - **ネットで投稿**

この防災すごろくをより多くの人に広めるために、学校のホームページなどのネットに記載しいつでも印刷できるようにすることでより多くの人にこのすごろくを遊んでもらえると考えました。

# 感想

---

**みんなの防災に対する意識が低くなっていることがわかりました。災害はいつ起こるかわからないので、**

**沢山の人に対策をしてもらえらるように他にも色々な提案をしていきたいです。**

---

**ご清聴ありがとうございました**



ご清聴ありがとうございました。